

「商業店舗」特化の開発が強み

オフィスパークレー 木村 繁樹 社長

「当社の強みは商業店舗に特化した不動産開発、すなわちお店を作ることに。今後はこれまでの大型店開発だけでなく小規模店舗の分野も本格的に開拓していく」と話すのは6月に就任した木村社長。

(株)オフィスパークレー(熊本市東区尾ノ上)は1998年に設立。不動産の売買や賃貸借などを手掛けており、九州一円で「HITOYOSHIREX」(人吉市)や「O-MUTAREX」(大牟田市)をはじめとした複合商業施設ほか、大型量販店、パチンコ店、コンビニエンスストア、飲食店などの開発実績を持つ。売上高は3億5千万円。木



きむら しげき
1974(昭和49)年9月30日
生まれの38歳。玉名市出
身。玉名高校-熊本学園大
学経済学部卒業後、住宅メ
カーに4年間勤務し、2002
年にオフィスパークレー入
社。取締役を経て今年6月社
長に就任

村社長は近年における県内流通業界の動きに目を向け「イズミやイオンに代表される大型商業施設の開発は一段落といった感じ。競争激化の中、時代の流れに合った店が勝つと考えており、今後は小規模店舗、特に牛丼や焼肉店、寿司店、コンビニエンスストアなどのロードサイド店開発を進め、新規出店用地をお探しの企業にとってベストパートナーを目指す」と意気込む。

一方、社員教育にも熱い視線を注ぐ木村社長。「結果を出した社員にはそれに応じた評価をし、給料に反映させていく方針。それが強い組織づくりになるからだ」と締めくくった。